

## ■ めざす姿へ向かって

高知県の教育全体がめざす未来像に向かって一丸となって取り組んでいくために、就学前・小学校・中学校・高等学校という子どもたちの発達段階で、それぞれ具体的に何をすればよいのかをこの冊子では取り上げています。

## ■ 県民の声

高知県では子どもたちの目指すべき人間像を「郷土を愛し世界にはばたく、心豊かでたくましく創造性に満ちた子どもたち」「学ぶ目的や意義を自覚し、自ら学ぶ力をもった人間」としていますが、高知県の教育は具体的に何が求められているのでしょうか。

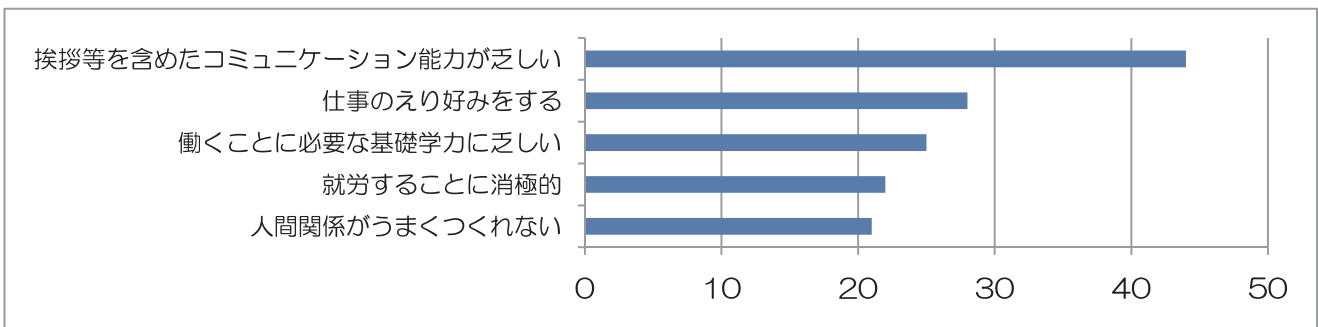
### 県民の声からみてみます （高知県教育振興計画策定の際の調査結果による）

- ◇ 小学校段階においては、基本的な生活習慣の確立、基礎学力の定着、思いやりの心【協調性】の順で求められています。
- ◇ 中学校段階においては、基礎学力の定着、基本的な生活習慣の確立、思いやりの心【協調性】の順で求められています。
- ◇ 高等学校段階においては、自ら考え主体的に判断する力、職業教育、進路指導の充実、思いやりの心【協調性】の順で求められています。

## ■ 企業の声

県内企業からみた本県の高等学校新卒者の課題として、「挨拶等を含めたコミュニケーション能力や人間関係をつくっていく力」、「就労意欲やチャレンジ精神」、「働くことに必要な基礎学力」などがあげられています。

設問：「最近の高等学校新卒者についての全体的な印象」 （県内企業907社による上位5回答 単位 %）



（平成21年2月 高知県経営者協会「高校生採用に関する企業意識調査」の報告書による）